

グローバル物流企業

Voltage SecureData のエンタープライズグレードのデータ保護により、機密データをあらゆる場面で継続的に保護できます。



EOL(サポート終了)に伴う新しいデータセキュリティソリューションの検討

今日、データ侵害の頻度とコストが増加し、データ保護規制がより複雑化していることから、先進的な企業はデータセキュリティについてプラットフォームアプローチを採用しています。この物流企業は、使用中のソリューションについて当時のセキュリティパートナーがサポート終了(EOL)を発表したのを機に、セキュリティに関する考え方を広げ、システムとセキュリティのギャップを埋め、データとアプリケーションを安全な方法で接続することにしました。しかしこれは「行うは難し」で、最高情報セキュ

「Voltage SecureData の潜在能力が十分に発揮されれば、社内の他のリポジトリでのデータ暗号化など、多くのユースケースへの応用可能性が考えられます。また、Voltage SecureData はオンプレミスとクラウドベースのアプリケーション間を流れるデータを保護するように設計されているため、クラウドベースモデルへの移行も考えられます」

最高情報セキュリティ責任者
グローバル物流企業

リティ責任者(CISO)は次のように説明しています。「セキュリティソリューションは組織に深く根付いており、それを解きほぐすのは実に困難です。実際、3年近くかけて試みましたが、期待していた結果は得られませんでした。さまざまな選択肢を徹底的に評価し、従来のソリューションを管理していた信頼できるシステムインテグレーターパートナーと相談した結果、Voltage SecureData なら、現在のデータセキュリティニーズに最も強力が柔軟に対応でき、将来のニーズに対しても適切に備えられることがわかりました」

Voltage SecureData by OpenText が他の有力な競合製品と比較検討されました。転送中、保存中、使用中のデータをフォーマット保持トークン化で保護できることと、分析やその他のビジネスプロセスでの参照整合性を維持できることが、検討チームの高い評価を得ました。しかし、大規模なデータセキュリティ移行プロジェクトに必要なのは、技術的な機能だけではありません。セキュリティプロセスは組織の中心まで入り込んでおり、ソリューションが不適切であればビジネスに大きな混乱をもたらす可能性があることをチームは認識していました。CISO は次のように述べます。「Voltage SecureData が世界的に著名な大手決済事業者で大規模な実績を持っていたことが決め手となりました。このプロジェクトで最も

概要

業種

運輸

所在地

米国

課題

既存のツールに代わって、最新のデータ保護に対応できるデータセキュリティソリューションを導入する

製品とサービス

Voltage SecureData

成功ポイント

- 従来のソリューションからの大規模なトークン化移行が12か月で完了
- 現行のサードパーティサービスパートナーとの協力でスムーズな移行を実現
- データ保護業界の規制に完全準拠
- 付加的なデータセキュリティの活用例に対応可能

「このプロジェクトで最も重視したのは信頼性です。CyberRes (現在は OpenText Cybersecurity 傘下)、当社のシステムインテグレーター、および当社のセキュリティチームの見識にもとづいたパートナーシップにより、既存のプロセスを中断したりデータの整合性を損なうことなく、新しいセキュリティプラットフォームに移行できました」

最高情報セキュリティ責任者
グローバル物流企業

お問い合わせ

www.opentext.com



重視したのは信頼性です。CyberRes (現在は OpenText Cybersecurity 傘下)、当社のシステムインテグレーター、および当社のセキュリティチームの見識にもとづいたパートナーシップにより、既存のプロセスを中断したりデータの整合性を損なうことなく、新しいセキュリティプラットフォームに移行できました」

人材も仕事も移り変わってゆくものであり、データ形式やデータセットの保護方法を記載した「レシピ」を収めた「料理本」を作るようお客様に案内することが重要です。これにより、時間がたっても使用できる便利な説明書ができます。

効率的なチームワークによる Voltage SecureData へのスムーズな移行

システムインテグレーターチームは、OpenText™ Cybersecurity のプロフェッショナルサービスと密接に連携してビジネス要件を明確にし、将来のニーズを予測しました。両者は、新しい Voltage SecureData プラットフォームへの移行についても協力しました。このプロセスは、Voltage SecureData のインターフェイス層のおかげで楽に進みました。複雑さが軽減され、顧客側の高度なコーディングスキルがそれほど必要ではなくなります。データ中心のセキュリティアプローチのメリットを迅速に得られた上、システ

ムインテグレーターはシームレスな導入を実現するためのガイダンスとサポートをプロフェッショナルサービスから受けることができました。

世界的な物流企業である同社は、多くのアプリケーションでフォーマット保持トークン化を使用して、クレジットカード情報と銀行口座番号を保護しています。繰り返し発生する支払いの場合、トークンは複数のアプリケーション内で常時保持され、トークンとクレジットカード情報の関係がセキュアに保存されます。こうして膨大な数のクレジットカードと銀行口座が安全に管理されています。

将来を見据えたクラウド対応の 全社規模データセキュリティ プラットフォーム

CISO は次のように述べます。「支払い情報のトークン化は、それ自体が大規模なプロジェクトでもありますが、社会保障番号、運転免許証番号、パスワードを例とするアプリ資格情報などの機密データをすべてアプリケーションレベルで保護するために数百のアプリケーションを暗号化することも検討しています。ライセンスの購入から、Voltage SecureData に切り替え、業界規制に完全に準拠するまでにわずか1年しかかかりませんでした。ベンダーへの信頼は不可欠でした。CyberRes

(現在は OpenText Cybersecurity 傘下) のプロフェッショナルサービスと当社のシステムインテグレーターとのパートナーシップが、あらゆる段階で信頼に繋がりました」

全社規模のデータセキュリティプラットフォームとして Voltage SecureData を導入したことで、チームは将来に目を向けることができます。CISO は次のように締めくくります。「Voltage SecureData の潜在能力が十分に発揮されれば、社内の他のリポジトリ内の PII を保護するなど、多くのユースケースへの応用可能性が考えられます。また、Voltage SecureData はオンプレミスとクラウドベースのアプリケーション間を流れるデータを保護するように設計されているため、クラウドベースモデルへの移行も考えられます。可能性は無限です。このパートナーシップを継続できることをうれしく思っています」

opentext™ | Cybersecurity

OpenText Cybersecurity は、あらゆる規模の企業とパートナー様を対象に、包括的なセキュリティソリューションを提供しています。予防から検出、復旧対応、調査、コンプライアンスに至るエンドツーエンドの統合プラットフォームにより、包括的なセキュリティポートフォリオを通じてサイバーレジリエンスの構築をサポートします。コンテキストに基づくリアルタイムの脅威インテリジェンスから得られた実用的なインサイトを活用できるため、OpenText Cybersecurity のお客様は、優れた製品、コンプライアンスが確保されたエクスペリエンス、簡素化されたセキュリティというメリットによって、ビジネスリスクを管理できます。